

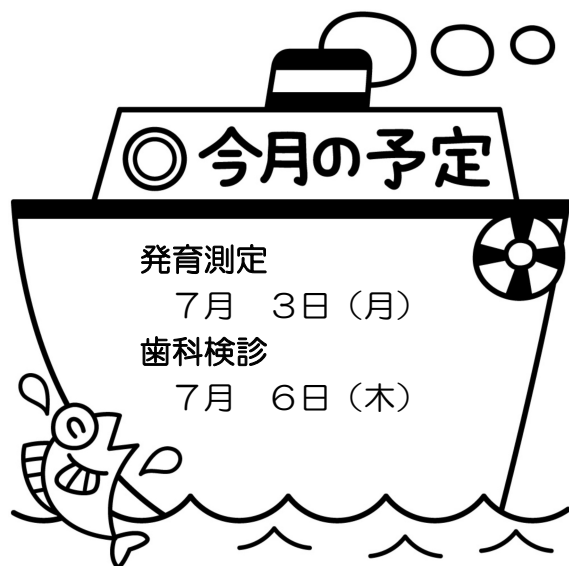
2023年

7月

ほけんだより

中宮まぶね保育園

暑い季節がやってきました。梅雨明け後は暑い日が続くので、熱中症も心配な時期です。子どもたちには、屋外の活動では帽子を必ずかぶり、水分をこまめにとるように声かけをしています。ご家庭でも、水分補給や体調管理に気を付けながら、涼しい時間帯は外遊びをして、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。



歯科検診が、7月 6日(木) 9時 15分からあります。

必ず、歯みがきをして登園してください。

お休みの方は、後日嘱託医の玉井歯科で検診を受けていただくか、体調が悪くなければ10時から11時頃に来ていただいても結構です。よろしくお願いします。

6月の保健指導 「手洗い指導」



手を洗わなかったから、手がバイキン色！！



せっけんくんに手の洗い方を教えてもらったよ！

夏に流行する子どもの感染症

ヘルパンギーナ

コクサッキーウイルスなどにより、38～40度の発熱で発症し、同時にのどが痛む病気です。発熱が1～3日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛などを起こします。乳幼児がかかりやすい、夏かぜの代表的な病気の一つです。

ヘルパンギーナは、急性期には、のどからウイルスが排泄されるため、せきをしたときのしぶきにより感染します。発症後4週間後ごろまで、便からウイルスが排泄されます。

手足口病

エンテロウイルスの感染により、口の粘膜および手足にみずぼうそうのような発疹が現れます。約3分の1に軽度の発熱がみられます。

咳をしたときのしぶきや、便などから感染します。感染してから病気の症状が出るまでの期間は3～5日です。

回復後2～4週間は、便からウイルスの排泄があり、人に感染させる恐れがあります。

咽頭結膜熱（プール熱）

アデノウイルスの感染により、発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状を来す、小児に多い病気です。プールの介して流行することもあるので、プール熱と呼ばれることもあります。

通常、6月ごろから徐々に流行しはじめ、7～8月にピークとなります。

6月に報告があった感染症

溶連菌感染症 6名

ヘルパンギーナ 9名

ノロウイルス感染症 1名